

令和8年度  
広島市立美鈴が丘高等学校  
教育課程  
年間授業計画  
－ シラバス －



第1学年

## 評価基準

### 1 観点別の評価点について

各学期とも、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価点の割合は1:1:1とする。

- (1) 学期によって評価点が異なってもよい。
- (2) 定期考査を行う科目は、1回の考査を100点で評価する。
- (3) 評価点の各学期の値については制限を設けない。
- (4) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価には定期考査を含めない。

### 2 第1～3回考査では、3つの観点それぞれについて、その達成度によりA、B、Cの3段階の評価を行う。また、3つの観点の評価点を合計し、その達成度によって10段階評価を決定する。

#### 観点別（ABC）の評価の基準

評価	A	B	C
達成度	65%以上	40%以上65%未満	40%未満

#### 10段階の評価の基準

評価	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
達成度	90%以上	80%以上	70%以上	65%以上	60%以上	50%以上	40%以上	30%以上	30%未満	

### 3 第4回考査では、3つの観点それぞれについて、年間の評価点合計による達成度によりA、B、Cの3段階の評価を行う。また、3つの観点の年間の評価点を合計し、その達成度によって5段階評定を決定する。

・ A、B、Cの評価の基準は第1～3回考査までと同じとする。

#### 5段階評定の基準

評定	5	4	3	2	1
達成度	70%以上	60%以上	40%以上	30%以上	30%未満

年間指導計画表(シラバス)

科目名	現代の国語	単位数	2単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>○教科書「現代の国語」(東京書籍)</p> <p>○副教材「LT 現代文 1」(浜島書店)</p> <p>「重要頻出漢字リアルマスター3300」(尚文出版)</p> <p>「新入門国語16訂版」(啓隆社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>実社会において理解したり表現したりするために必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p>	<p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>(文化)水の東西</p> <p>(文学)羅生門</p> <p>(環境)生物の多様性とは何か</p> <p>(広告)広告の形而上学</p> <p>(芸術)木を見る、森を見る</p> <p>【言語活動】「情報を整理しながら話し合う」</p>	<p>・定期考査</p> <p>・小テスト 等</p>	<p>・定期考査 等</p>	<p>・提出課題</p> <p>・授業態度</p> <p>・レポート 等</p>
	評価点	100点	100点	100点
後期	<p>(文学)夢十夜</p> <p>(言語)言葉は「ものの名前」ではない</p> <p>(文学)砂に埋もれたル・コルビュジエ</p> <p>(社会)〈私〉時代のデモクラシー</p> <p>(統計)医療と介護の未来</p> <p>【言語活動】「論証してレポートを書く」</p>	<p>・定期考査</p> <p>・小テスト 等</p>	<p>・定期考査 等</p>	<p>・提出課題</p> <p>・授業態度</p> <p>・レポート 等</p>
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	(文化)「水の東西」 → 「水」をめぐる日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	6	
	5	(文学)「羅生門」 → 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	6	
	6	(環境)「生物の多様性とは何か」 → 生物多様性について書かれた評論を読み、ヒトが自ら守るべき「分際」について考えを深める。 ●第一回考査	6 4	
	7	【言語活動】「情報を整理しながら話し合う」	4	
	8	(広告)「広告の形而上学」 → 比喩に注意して、広告の奇妙さについて書かれた評論を読み、現代社会の特質について考える。	6	
	9	(芸術)「木を見る森を見る」 → タイトルや具体例に注意して主張を捉え、物事を多様な視点から見る姿勢を養う。 ●第二回考査	6 6	
	後期	10	(文学)「夢十夜」 → 「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。	6
		11	(言語)「言葉は『ものの名前』ではない」 → 言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。 【言語活動】「論証してレポートを書く」	8 4
		12	●第三回考査	
		(文学)「砂に埋もれたル・コルビュジエ」 → 父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取る。	6	
1		(社会)「〈私〉時代の民主主義」 → 〈私〉が尊重される現代社会における民主主義が抱える課題を理解し、視野を広げる。	6	
2		(統計)「医療と介護の未来」 → 統計資料とその解釈の仕方を論じた評論を読み、統計の読み方について考えを深める。	6	
3		●第四回考査		

#### 5 その他

「現代の国語」は、「物事を多様な視点から見つめ、自ら問いを立てて考えること」、「自ら立てた問いに取り組み、考えたことを伝え合うこと」を目的に学びを進めていきます。互いの考えを尊重しながら、お互いを高め合おうという意識を持って授業に臨んでください。

○小テストは必ず学習してからテストに臨みましょう。また、教材の語句の意味調べをするなど予習をしましょう。

○話し合いやグループワークには積極的に参加し、人の意見にもきちんと耳を傾けましょう。

○現代文を理解したり、話し合ったり、文章を書いたりするためには、歴史や社会についての知識・理解が不可欠です。日ごろから新聞や雑誌を読み、情報を収集・整理しておきましょう。

○週末課題の問題集は、期限および指示を守り、「身に付く学習」にするにはどうしたらよいかを自分で考え、工夫して取り組みましょう。未提出や不備については、指導の対象となります。

○現代文は暗記科目ではありません。積極的に本文の内容を読み取り、話題について自分の考え・意見を持ちましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	言語文化	単位数	2単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書副教材等	<p>○教科書「精選言語文化」(第一学習社)</p> <p>○副教材「基本の古典新装二版」(尚文出版)</p> <p>「読んで見て聞いて覚える重要古文単語315」(桐原書店)</p> <p>「古典文法習得のための助動詞マスターノート」(数研出版)</p> <p>「漢文必携 五訂版」(桐原書店)</p> <p>「完全傍訳やさしくくわしい古典文法 三訂版」(尚文出版)</p> <p>「記入してわかるやさしくくわしい古典文法ノート 修訂版」(尚文出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	(古文入門)「児のそら寝」【宇治拾遺物語】 (漢文入門)「狐借虎威」【戦国策】 (古文)「丹波に出雲といふ所あり」【徒然草】 (漢文)【論語】 (古文)「筒井筒」【伊勢物語】 (和歌)【万葉集・古今和歌集・新古今和歌集】	・定期考査 ・小テスト等	・定期考査等	・提出課題 ・授業態度 ・ノート ・授業課題等
	評価点	100点	100点	100点
後期	(漢詩)「春望」「静夜思」「香炉峰下～」ほか (古文)「門出」「帰京」【土佐日記】 (漢文)「先従隗始」【十八史略】 (古文)「中納言参り給ひて」【枕草子】	・定期考査 ・小テスト等	・定期考査等	・提出課題 ・授業態度 ・ノート ・授業課題等

	評価点	100点	100点	100点
--	-----	------	------	------

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	(古文入門)「児のそら寝」【宇治拾遺物語】 → 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。	5
	5	(漢文入門)「狐借虎威」【戦国策】 → 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	5
	6	(古文)「丹波に出雲といふ所あり」【徒然草】 → 思索的な随筆を読んで、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ●第一回考査	8
	7	(漢文)【論語】 → 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。	4
	8	(古文)「筒井筒」【伊勢物語】 → 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。	6
	9	(和歌)【万葉集・古今和歌集・新古今和歌集】 → 和歌の読解を通して、その特色を捉えるとともに、和歌の鑑賞のしかたを理解する。 ●第二回考査	6
	後期	10	(漢詩)「春望」「静夜思」「香炉峰下～」ほか → 表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。
11		(古文)「門出」「帰京」【土佐日記】 → 仮名で書かれた最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 ●第三回考査	12
12		(漢文)「先從隗始」【十八史略】 → 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。	8
1		(古文)「中納言参り給ひて」【枕草子】 → 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感	10
2		覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。	
3	●第四回考査		

#### 5 その他

○授業の予習・復習・課題等により、古典文法等の知識事項を確実に習得するように取り組み、文章の読解力を身に付け、必要な国語力を修得しましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	歴史総合	単位数	2単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に係わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	教科書:『現代の歴史総合－みる・読みとく・考える－』(山川出版社) 副教材:『問いからはじまる歴史総合』(とうほう)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用したりして多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価点	320点	320点	320点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[1部 歴史の扉] [2部 近代化と私たち] 1章 結びつく世界と日本の開国 2章 国民国家と明治維新 [3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち] 1章 総力戦と社会運動	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析

	評価点	160点	160点	160点
後期	[3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち] 2章 経済危機と第二次世界大戦	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・授業中の行動観察 ・各種提出物
	[4部 グローバル化と私たち] 1章 冷戦と世界経済 2章 世界秩序の変容と日本	・各種提出物 ・ワークシートの記述分析	・各種提出物 ・ワークシートの記述分析	・ワークシートの記述分析
	評価点	160点	160点	160点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	[1部 歴史の扉] 1章 歴史と私たち	4
	5	2章 歴史の特質と資料 [2部 近代化と私たち] 1章 結びつく世界と日本の開国 2章 国民国家と明治維新	14
	6	..... 第1回考査	
	7	3章 近代化と現代的な諸課題 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動1 単元のまとめ:「近代化と私たち」</span>	
	8		2
	9	[3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち] 1章 総力戦と社会運動 ..... 第2回考査	14
	10	[3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち] 2章 経済危機と第二次世界大戦 3章 大衆化と現代の諸課題	18
	11	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動2 単元のまとめ:「国際秩序の変化や大衆化と私たち」</span> ..... 第3回考査	
	12	[4部 グローバル化と私たち] 1章 冷戦と世界経済 2章 世界秩序の変容と日本	18
後期	1		
	2	3章 現代的な諸課題の形成と展望 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動3 単元のまとめ:「グローバル化と私たち」</span>	
	3	..... 第4回考査	

#### 5 その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に図版や資料の読み取りをします。</li> <li>・授業方法としては、資料を読むことを中心に進めていきます。</li> </ul>
---

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ	単位数	2+2+1 単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数と式、集合と命題、二次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動及び式と証明の各分野について、以下のことを目指す。</p> <p>内容を理解し、基礎的な知識を習得し、技能を習熟させる。</p> <p>事象を数学的に考察する能力を培う。</p> <p>数学のよさを認識できるようになる。</p> <p>これらを活用する態度を身に付ける。</p> <p>自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へ調整する。</p>
使用教科書 副教材等	<p>「改訂版 新編 数学Ⅰ」(数研出版) 「改訂版 新編 数学A」(数研出版)</p> <p>「新編 数学Ⅱ」(数研出版)</p> <p>「クリアー 数学Ⅰ+A」(数研出版) 「クリアー 数学Ⅱ+B+C」(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする。</p> <p>粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>数学Ⅰ 第1章 数と式</p> <p>数学Ⅰ 第2章 集合と命題</p> <p>数学Ⅰ 第3章 二次関数</p> <p>数学Ⅰ 第4章 図形と計量</p>	<p>定期考査</p> <p>確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	50点	50点	50点
後期	<p>数学Ⅰ 第5章 データの分析</p> <p>数学A 第1章 場合の数と確率</p> <p>数学A 第2章 図形の性質</p> <p>数学A 第3章 数学と人間の活動</p> <p>数学Ⅱ 第1章 式と証明</p>	<p>定期考査</p> <p>確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	50点	50点	50点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	オリエンテーション1 (高校での数学の学習について) オリエンテーション2 (タブレットの活用について)	
	5	数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習1 1次不等式</span>	
	6	数学Ⅰ 第2章 集合と命題 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習2 命題</span> 数学Ⅰ 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習3 2次関数の値の変化</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習4 2次方程式と2次不等式</span> 第1回考査	45
	7		
	8		
	9	数学Ⅰ 第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習5 三角比の活用</span> 第2回考査	40
	10	数学Ⅰ 第5章 データの分析 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習6 データの分析の活用</span> 数学A 第1章 場合の数と確率	
	11	第1節 場合の数 第2節 確率 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習7 場合の数</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習8 確率</span>	45
	12	第3回考査	
後期	1	数学A 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習9 図形の性質</span>	
	2	数学A 第3章 数学と人間の活動 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究学習10 数学と人間の活動</span> 数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と証明 第2節 等式・不等式の証明 第4回考査	45
	3	今年度の振り返りと次年度に向けて	

#### 5 その他

高校での数学の学習について

脳は何歳からでも活性化できます。普段から、速さと正確さを兼ね備えた計算力を身につけるよう心がけましょう。

授業や課題に次のような姿勢で取り組みましょう。

1. 授業で扱ったような問題を解けるようになるだけでなく、初めて見るような問題であっても、柔軟に考えて取り組み、解決できる思考力を身に付けましょう。
2. 思考したことを、数式や文章で表現し、解答する表現力を磨きましょう。  
※そのために解き直しをするなど、繰り返し問題を解くことが必要です。
3. 自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へと改善していきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎	単位数	2単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>啓林館「i版 化学基礎 改訂版」(化基 061-902)</p> <p>第一学習社「2026セミナー化学基礎+化学」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[序章 物質って何だろう] [第1部 物質の構成] 第1章 化学と物質 第2章 物質の構成粒子 第3章 化学結合 [第2部 物質の変化] 第1章 物質と化学反応式	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	120点	120点	120点
後期	第1章 物質と化学反応式 つづき 第2章 酸と塩基 第3章 酸化還元反応 [終章 化学が拓く世界]	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	120点	120点	120点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔序章 物質って何だろう〕 探究1 砂糖水と食塩水の区別	2
		〔第1部 物質の構成〕	
		第1章 化学と物質	8
	5	・ 純物質と混合物(1～2節) 探究2 混合物の分離	
		・ 物質とその成分(3～4節) 探究3 身近な物質の成分元素の検出	
		・ 粒子の熱運動と物質の三態(5節)	
		第2章 物質の構成粒子	8
	6	・ 原子の構造と電子配置(6～8節)	
		・ イオン(9～10節)	
	・ 元素の周期表(11節) 第1回考査		
7	◆ 第3章 化学結合	10	
8	・ イオン結合(12～13節)		
	・ 共有結合(14～20節)		
	・ 金属結合(21節)		
	・ 化学結合と物質の分類(22節)		
	〔第2部 物質の変化〕		
9	第1章 物質と化学反応式	6	
	・ 物質(23～27節) 第2回考査		
後期	10	・ 溶液と濃度(28節)	6
		・ 化学変化の量的関係(29～31節) 探究4 化学変化の量的関係	
		第2章 酸と塩基	12
	11	・ 酸と塩基(32～33節)	
		・ 水の電離とpH(34～35節)	
		・ 中和と塩(36～38節)	
		・ 中和滴定(39～40節)	
		探究5 中和滴定 第3回考査	
	◆	第3章 酸化還元反応	15
	12	・ 酸化と還元(41～45節)	
1	・ 金属の酸化還元反応(46～47節)		
2	・ 酸化還元反応の利用(48～50節)		
3	〔終章 化学が拓く世界〕 第4回考査	3	
	◆		

#### 5 その他

- 化学基礎の授業では自分の考えをしっかりと持った上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めていきます。
- 探究活動を行います。探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説や検証計画を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	3単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、他者の尊重などの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店) ステップアップ高校スポーツ2026(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、体力の必要性等について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画などの意欲をもち、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	体づくり運動 体育理論 男子:武道(柔道)、球技(ソフトボール)、器械体操(マット運動) 女子:球技(ソフトボール・バドミントン・卓球)、器械体操(マット運動)	スキルテスト 授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析
	評価点	130点	130点	130点
後期	体づくり運動(なわとび) 男子:陸上競技(長距離走)、武道(柔道)、球技(バレーボール・サッカー) 女子:陸上競技(長距離走)、球技(バドミントン・卓球・サッカー・バレーボール)	スキルテスト 授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析
	評価点	120点	120点	120点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容		時数
		男子	女子	
前期	4	<b>領域【体づくり運動】</b> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、などを理解し、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。		51
	5			
	6	<b>領域【器械運動(マット運動)】</b> ・技がよりよくできたり、技の行い方、体力の高め方を理解することができる。自己や仲間の課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	<b>領域【球技(ソフトボール)】</b> ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによる攻防ができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	
	7	<b>領域【球技(ソフトボール)】</b> ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによる攻防ができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	<b>領域【器械運動(マット運動)】</b> ・技がよりよくできたり、技の行い方、体力の高め方を理解することができる。自己や仲間の課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	
	8	<b>領域【体育理論】</b> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。		
	9			
	10	<b>領域【武道(柔道)】</b> ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりすることができる。 ・自己や仲間の課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	<b>領域【ネット型球技(バドミントン・卓球)】※選択</b> ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	
	11	<b>領域【球技(バレーボール)】</b> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	<b>領域【球技(サッカー)】</b> ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	
	12			
	後期	1	<b>領域【陸上競技(長距離走)】 体づくり運動(なわとび)</b> ・自己に適したペースを維持して走ることができる。 ・自己や仲間の課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	
2		<b>領域【球技(サッカー)】</b> ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	<b>領域【球技(バレーボール)】</b> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1 単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育改訂版(大修館書店) 現代高等保健体育ノート(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて自ら思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習を主体的に取り組もうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	【1 単元 現代社会と健康】 01～14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ノートや振り返りの記述分析</li> <li>・グループワークでの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ノートや振り返りの記述分析</li> <li>・グループワークでの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・自主学习・振り返りの記述分析</li> </ul>
	評価点	100点	100点	100点
後期	【1 単元 現代社会と健康】 15～19 【2 単元 安全な社会生活】 01～06	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ノートや振り返りの記述分析</li> <li>・グループワークでの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ノートや振り返りの記述分析</li> <li>・グループワークでの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・自主学习・振り返りの記述分析</li> </ul>
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数				
前 期	4	【1 単元 現代社会と健康】 01 健康の考え方と成り立ち 02 私たちの健康のすがた 03 生活習慣病の予防と回復	探究活動①;健康の捉え方の歴史を振り返る 探究活動②;生きることと病気について考える	17			
		5	04 がんの原因と予防 05 がんの治療と回復		探究活動③;がんの克服<がん治療最前線>を知る 探究活動④;がんと共に生きる人々を支える取り組みを知る		
			6		06 運動と健康 07 食事と健康 08 休養・睡眠と健康 <第1回考査>	探究活動⑤;自分の身体活動量を調べる 探究活動⑥;BMI から自分の肥満度を調べる	
	7	09 喫煙と健康					
		8			10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	探究活動⑦;酒の広告について考える 探究活動⑧;薬物乱用への誘いに対処を考える	
	9		12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復		探究活動⑨;ストレスや不安への対処法を考える 探究活動⑩;うつ病からの回復例から学ぶ		
		10	<第2回考査>				
		後 期	11		15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	探究活動⑪;薬剤耐性菌について考える 探究活動⑫;新たなインフルエンザについて考える	18
	12				18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	探究活動⑬;イッキ飲みを防ぐために 探究活動⑭;望ましくない習慣をやめる手立てを考え	
					<第3回考査>		
1	【2 単元 安全な社会生活】 01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成 03 交通における安全		探究活動⑮;防災・避難計画について考える 探究活動⑯;犯罪から身を守るために注意することを考える				
	2		04 応急手当の意義とその基本 05 日常的な応急手当				
			3	06 心肺蘇生法 <第4回考査>	探究活動⑰;実習<心肺蘇生法>		

#### 5 その他

- 健康について自分の考えをしっかりと持ったうえで、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めていきます。
- 内容のまとめりに毎に課題(レポート)を提出してもらいます。それを踏まえて授業での学習活動に取り組んでください。
- 学習課題や振り返りの提出は原則 ICT 機器を利用し、classroom 上で行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽 I	単位数	2単位
		学年等	第1学年・選択

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。</li> <li>・音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。</li> <li>・音や音楽を知覚・感受し、思考・判断する能力をはぐくみ、表現と鑑賞の能力を伸ばす。</li> <li>・中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史背景についても理解し、広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。</li> </ul>
使用教科書 副教材等	MOUSA1(教育芸術社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって演奏や鑑賞をすることができる。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、表現意図をもって演奏することができる。	自らが、音楽が持つ魅力を探し探求し楽しんでいこうという思いで学習に取り組んでいる。作品の良さを音楽的知識と結びつけ、自分の感性を働かせて音楽表現や鑑賞を楽しもうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	日本語の歌 三線に親しもう 舞台芸術(ミュージカル) 創作 ドイツ・イタリア歌曲 ギターに親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験</li> <li>・ワークシート</li> <li>・授業中の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験</li> <li>・ワークシート</li> <li>・課題プレゼンテーション</li> <li>・授業中の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験</li> <li>・振り返りシート等</li> <li>・授業中の取り組み</li> </ul>
	評価点	100点	100点	100点
後期	西洋音楽史 舞台芸術(オペラ) 混成三部合唱に取り組もう ボディーパーカッション 郷土の民謡と芸能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験</li> <li>・ワークシート</li> <li>・授業中の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験</li> <li>・ワークシート</li> <li>・課題プレゼンテーション</li> <li>・授業中の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験</li> <li>・振り返りシート等</li> <li>・授業中の取り組み</li> </ul>
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	<b>日本語の歌</b> ・発声や発音、歌う姿勢を身につけて歌う	6
	5	・日本のポピュラー音楽、歌曲を歌詞と曲想との関わりについて理解し、表情豊かに歌う <b>三線に親しもう</b> ・和楽器の響きを味わいながら弾き歌いをする ・音の重なりを感じながら、2重奏をすることができる	6
	6	<b>舞台芸術(ミュージカル)</b> ・ミュージカルの鑑賞を通して、歴史的・文化的背景と作品との関わりについて学習する	6
	7	<b>イタリア・ドイツ歌曲</b> ・イタリア語、ドイツ語の発声や発音、歌う姿勢を身につけて歌う	8
	8	・歌詞の内容と曲想との関わりについて理解し、表現を工夫して歌う <b>ギターに親しもう</b> ・ギターの奏法、正しい姿勢を身につけ、メロディを弾けるようになる	8
	9	・ギターの音の重なりを味わいながら2重奏をする ・ギターの和音の響きを感じ取りながらコードを弾いて弾き語りをする	8
後期	10	<b>西洋音楽史</b> ・西洋音楽の流れを理解し、作品の成立した時代背景と音楽との関わりについて考える (中世・ルネサンス、バロック、古典派、ロマン派、近・現代)	8
	11	<b>舞台芸術(オペラ)</b> ・オペラの鑑賞を通して、様々な芸術が関わり合って成り立つ舞台芸術の魅力に迫る	2
	12	<b>混成三部合唱 ・混成3部合唱の響き</b> ・パートの役割を理解し、混成3部合唱をする	8
	1	・3声の重なり合いを感じ取りながら表現を工夫してよりよい混成3部合唱を創る <b>ボディーパーカッション</b>	10
	2	・リズムの重なり合いを意識して、音色や強弱を工夫して演奏する <b>郷土の民謡と芸能</b>	8
	3	プレゼンテーション課題を通して、広島県に伝わる民謡・芸能について知り、民謡・芸能を継承することの課題と意味について考える。	8

#### 5 その他

音楽は、積極的に演奏や鑑賞に取り組むことで学習が深まります。音楽 I では、様々な音楽に触れ、歌唱や器楽の基礎を学びましょう。また、一人で演奏に取り組むこともありますが、2重奏や2重唱、グループ演奏、合唱など複数人で取り組むことも多い科目です。ペアやグループでの活動では、周りの仲間と積極的に関わり合い、協調性、リーダーシップ、そして主体的に学習に取り組む力を身につけてほしいと思います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術 I	単位数	2単位
		学年等	第1学年・選択

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	高校生の美術1(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	ペン画(ゼンタングル)の制作 エコバッグ制作 鉛筆デッサン(静物)の制作 イメージ画の制作	・提出作品 ・提出プリント	・提出作品 ・作品解説用紙	・鑑賞プリント ・振り返りシート
	評価点	100点	100点	100点
2	粘土作品の制作 テーマ制作(絵画)	・提出作品 ・提出プリント	・提出作品 ・作品解説用紙	・鑑賞プリント ・振り返りシート
	評価点	100点	100点	100点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	○ペン画(ゼンタングル)の制作 ・描画材としてのペンの特性 ・アイデアスケッチの作成	8
	5	・ゼンタングルとは ・ペン画の描き進め方 ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	
	6	○エコバッグ制作 ・アクリルガッシュの使い方 ・アイデアスケッチの作成	8
	7	・さまざまな版画について ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	
	8	○鉛筆デッサン(静物)の制作 ・描画材としての鉛筆の特性 ・デッサンの描き進め方	4
	9	・デッサンとは ・デッサン用鉛筆の削り方 ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	
	9	○イメージ画の制作 ・アクリルガッシュ基礎演習 ・アイデアスケッチの作成	14
		・色彩/構図について ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	
	後期	10	○粘土作品の制作 ・様々な立体造形作品の鑑賞
11		・使用粘土の特徴について ・彫塑道具の使い方について ・アイデアスケッチの作成 ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	
12		○テーマ制作(絵画)	18
1		・テーマの解釈、図案の考案について ・アイデアスケッチの作成	
2		・混色/筆のタッチについて ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	
3			
	1年間のまとめ		

#### 5 その他

- 授業時間数が少なく、限られているので、集中して、能率よく作業をするようにしよう。
- 美術は手間です。こだわりを持って手間を惜しまないようにすれば、おのずから、実力が身に付いてきます。
- 常に次に行うことを考え、事前に準備をし、忘れ物をしないようにしよう。後片付けを確実に行ってください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道 I	単位数	2単位
		学年等	第1学年・選択

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</li> <li>・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</li> <li>・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</li> </ul>
使用教科書 副教材等	東京書籍 書道 I ペン習字の基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。</li> <li>・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	書写から書道へ 漢字の書① 楷書 漢字の書② 行書 漢字の書③ 隷書 篆刻 漢字の書④ 創作 鑑賞①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ファイル(ワークシート)の記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ファイル(ワークシート)の記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ファイル(ワークシート)の記述分析</li> </ul>
	評価点	50点	50点	50点
後期	仮名の書① 基本 漢字仮名交じりの書① 生活の中の書① カレンダー 仮名の書② 連綿と古筆 漢字仮名交じりの書② 鑑賞② 漢字の書⑤ 一字書創作 鑑賞③ 生活の中の書② 硬筆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ファイル(ワークシート)の記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ファイル(ワークシート)の記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ファイル(ワークシート)の記述分析</li> </ul>
	評価点	50点	50点	50点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	書写から書道へ	2	
	5	漢字の書①	8	
		漢字の書②	6	
	6	漢字の書③	4	
		篆刻	8	
	7	漢字の書④	5	
		鑑賞①	1	
	後期	10	仮名の書①	8
		11	漢字仮名交じりの書①	6
生活の中の書①			4	
1		仮名の書②	3	
		漢字仮名交じりの書②	5	
2		鑑賞②	2	
		漢字の書⑤	5	
		鑑賞③	2	
3		生活の中の書②	1	

#### 5 その他

- 「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」を学ぶ。様々な書体(篆書・隸書・楷書・行書など)の基礎学習や、古典の鑑賞や臨書によって書の伝統や文化を理解し自己の表現力の向上に努めてほしい。
- 生活の中に書道で学んだ様々な活動を取り入れ、多くの手がかりを得るよう積極的に学ぼう。
- 中国や日本の書道史の学習においては、世界史や日本史の学習領域とも共通することが多いので注意する。
- 清書や添削作品、プリント類をファイルしておく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーション I	単位数	4 単位
		学年等	1 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>FLEX ENGLISH COMMUNICATION I SECOND EDITION (増進堂)</p> <p>Real-Life Listening 1(旺文社)</p> <p>必携英単語 LEAP(数研出版株式会社)</p> <p>英語長文演習 アプローチ(3訂版) vol.1 (美誠社)</p> <p>英語長文演習 アプローチ(3訂版) vol.2 (美誠社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Starting Lesson Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習プリントの記述</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・学習プリントの記述</li> <li>・パフォーマンステスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習プリントの記述</li> </ul>
	評価点	200	200	200
後期	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習プリントの記述</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・学習プリントの記述</li> <li>・パフォーマンステスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習プリントの記述</li> </ul>

	Lesson 10			
	評価点	200	200	200

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	Starting Lesson Mascot Characters for Towns ①各地域のマスコットキャラクターの表すメッセージを理解し、自分たちの地域のマスコットキャラクターについて考察する。 ②中学校で既習の文法事項を復習する。	10
	5	Lesson 1 How Can WE Become Stronger? ①松岡修造氏の金言に込められたメッセージを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②助動詞や不定詞の用法を理解し、それらを用いて表現する。	13
	6	Lesson 2 The Jar of Life ①教授が伝えようとした人生における重要なメッセージを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②動名詞や間接疑問文の用法を理解し、それらを用いて表現する。 .....第1回考査	13
	7	Lesson 3 It's Always Sunny in Space! ①JAXAによる宇宙開発計画についてその長所や短所を踏まえて理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②現在完了形や後置修飾の用法を理解し、それらを用いて表現する。	12
	8	Lesson 4 Mary Anning - The Great Fossil Hunter ①メアリーの生い立ちや功績を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②関係代名詞や過去完了形の用法を理解し、それらを用いて表現する。	12
	9	Lesson 5 Mount Fuji ①富士山が「文化遺産」として世界遺産に登録された背景を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②使役動詞や節を導く形式主語の it の用法を理解し、それらを用いて表現する。 .....第2回考査	12
	10	Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs ①SDGsの概要を把握し、SDGsが「きかんしゃトーマス」のいくつかのエピソードに取り入れられた意義を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②関係代名詞 what や強調構文の用法を理解し、それらを用いて表現する。	16
	11	Lesson 7 Virtual Water ①「仮想水」の概念を把握し、日本が抱えている問題点を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②関係代名詞の非制限用法や関係副詞の用法を理解し、それらを用いて表現する。 .....第3回考査	16
	12	Lesson 8 Lessons from the Past for the Future ①アンネの日記に込められた思いを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②仮定法過去や仮定法過去完了の用法を理解し、それらを用いて表現する。	12
後期	1	Lesson 9 Biomimicry - Inspired by Nature ①「バイオミミクリー」の概念やそれがどのような形で私たちの身の回りのものに応用されているのかを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②知覚動詞や分詞構文の用法を理解し、それらを用いて表現する。	12
	2	Lesson 10 Donald Keene and His Love of Japan ①ドナルド・キーンの日本文学の研究と普及に捧げた人生を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。	12
	3		

		②前置詞+関係代名詞や完了進行形の用法を理解し、それらを用いて表現する。	
--	--	--------------------------------------	--

第4回考査

## 5 その他

英語は世界に通用するコミュニケーション・ツールです。英語の特徴的な構造や英語が話される国の文化や背景についてもしっかり学び、高校卒業時には英語で意思の疎通が図れるようになることを目指しましょう。

授業では、読む活動を中心に聞いたり書いたりする活動も多く取り入れます。読んだり、聞いたりする際には、多少理解が難しい事があっても、前後関係などから意味を考えるようにしましょう。考えながら読んだり聞いたりすることが大切です。また、ペアワークやグループワーク、発表活動なども取り入れます。

加えて、書く活動はみなさんの英語力を伸ばすためにとても大切です。最初は間違いを恐れず書く活動に取り組み、徐々に正しい英文で書けるようになることを目指しましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 I	単位数	2単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>be English Logic and Expression I Clear New Edition(いいずな書店)</p> <p>be English Logic and Expression I Clear Workbook(いいずな書店)</p> <p>総合英語 be 5th Edition(いいずな書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Lesson 1 ~ 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習プリントの記述</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・学習プリントの記述</li> <li>・パフォーマンステスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習プリントの記述</li> </ul>
	評価点	200	200	200
後期	Lesson 12 ~ 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習プリントの記述</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等</li> <li>・学習プリントの記述</li> <li>・パフォーマンステスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題等</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習プリントの記述</li> </ul>
	評価点	200	200	200

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	Lesson 1 Meeting People	3
	5	Lesson 2 Holidays and Weekends	3
		Lesson 3 Making Plans	4
	6	Lesson 4 Experiences	4
		Lesson 5 Study and Activities ..... 第1回考査	4
	7	Lesson 6 Food	4
		Lesson 7 School Life	4
		Lesson 8 Daily Life	4
	9	Lesson 9 Buildings and Transportation	3
		Lesson 10 The Future	4
		Lesson 11 Staying Healthy ..... 第2回考査	3
後期	10	Lesson 12 Electrical Appliances	3
		Lesson 13 Hobbies and Interests	3
	11	Lesson 14 The World of Nature	3
		Lesson 15 Trouble and Difficulties	3
	12	Lesson 16 Inventions and Discovery	3
		Lesson 17 Career and Social Service ..... 第3回考査	3
	1	Lesson 18 Events and Customs	3
		Lesson 19 Living Environment	3
	2	Lesson 20 Social Problems	3
	3	Lesson 21 Making a Wish ..... 第4回考査	3

#### 5 その他

英語で適切にコミュニケーションを取れるようになるためには、英語独特の文構造や文法の決まりを知っておくこと、また内容に関連した単語や表現を身につけることが必要です。ルールを知り、様々な表現方法を知った上で正確な発音を身につけようとする態度で何度も音読を繰り返すとともに、ある程度まとまりのある文章を書いたり即興でスピーチしたりする練習を繰り返しましょう。英語でのコミュニケーションにおいて最も大切なことは、間違いを恐れず積極的に話したり、書いたり、聞いたりする姿勢をもつことです。授業ではペアワークやグループワーク、発表活動など取り入れます。このような活動には、お互いを理解し高める気持ちで積極的に取り組みましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭科・家庭基礎	単位数	2単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
使用教科書 副教材等	「新家庭基礎 気づく力 築く未来」(実教出版) 「2026 最新 生活ハンドブック 資料&成分表」(第一学習社) 自主教材:授業プリント・ワークシート

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1章 自分らしい生き方と家族 8章 消費行動を考える 9章 経済的に自立する 2章 子どもとかわる 3章 高齢者とかわる 4章 社会とかわる	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント ・定期考査 ・課題レポート	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント ・定期考査 ・課題レポート	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント ・課題レポート
	評価点	100点	100点	100点
後期	5章 食生活をつくる 7章 住生活をつくる 6章 衣生活をつくる	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント ・定期考査 ・課題レポート ・作品 ・実技テスト	・授業中の行動観察 ・ワークシート(発表) ・学習プリント ・定期考査 ・課題レポート ・作品	・授業中の行動観察 ・ワークシート(発表) ・学習プリント ・課題レポート ・作品
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	1章 自分らしい生き方と家族 第1節 人生の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 第2節 自立と共生 第3節 ライフキャリアを見つめ直す 第4節 共に生きる家族 第5節 家族に関する法律	5	
	5	8章 消費行動を考える 第1節 消費行動と意思決定 第2節 消費生活の現状と課題 第3節 消費者の権利と責任 第4節 ライフスタイルと環境	5	
	6	9章 経済的に自立する 第1節 暮らしと経済 第2節 将来のライフプランニング	4	
		2章 子どもとかかわる 第1節 子どもとは 第2節 子どもの発達 .....第1回考査	3	
				1
		7	第3節 子どもの生活 第4節 子どもをはぐくむ 第5節 子どものための社会福祉	6
	8	3章 高齢者とかかわる 第1節 高齢社会に生きる 第2節 高齢者を知る 第3節 高齢者の自立を支える	5	
	9	第4節 高齢社会を支えるしくみ	5	
		4章 社会とかかわる 第1節 支えあって生きる 第2節 共生社会を生きる	5	

後期	10	5章 食生活をつくる 第1節 日本の食文化の形成 第2節 私たちの食生活 第3節 栄養と食品のかかわり 第4節 食品の選び方と安全 第5節 食事の計画と調理 第6節 これからの食生活を考える	探究活動6 栄養計算にチャレンジ 探究活動7 安全で衛生的な調理実習に挑戦	10
	11	7章 住生活をつくる 第1節 人間と住まい 第2節 住まいの文化 第3節 住まいを計画する 第4節 健康に配慮した快適な室内空間	探究活動8 1人暮らしの平面図作成	7
		.....第3回考査		1
	12	第5節 安全な住まい 第6節 持続可能な住まいづくり	探究活動9 地域のハザードマップを調査する	3
	1	6章 衣生活をつくる 第1節 人と衣服のかかわり		15
	2	第2節 衣服の素材の種類と特徴 第3節 衣服の選択から管理まで		
	3	第4節 持続可能な衣生活をつくる 第5節 衣服の構造・デザイン	探究活動10 技術を高めよう 被服実習に挑戦	

## 5 その他

- 授業時間を大切に、授業で使用したプリント類は毎時間きちんと整理して、学習した項目を確認しましょう。
- 単元ごとに実習や実験等の体験学習や探究活動を行います。時間毎の目標に到達できるように、積極的に取り組み、学習の質の向上に努めましょう。
- 班学習が多くあります。自分とは異なる考えがあることを理解し、協力・協働し、学び合いましょう。
- 知識と技能を習得するのみにとどまらず、生活を総合的に把握し課題を見出し、解決するための実践力を身に付けていってください。(近年、大学入試での小論文試験等において、さまざまな学部で生活体験に基づいた分析と考察が求められる家庭科教育内容に関する問題が出題されています。日頃から新聞や文献を読んで、知識を広めておいてください。)

年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報 I	単位数	2単位
		学年等	第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	東京書籍「情報 I Step Forward!」・東京書籍「ニューステップアップ情報 I 教科書傍用問題集」・実教出版「Python でまなぶプログラミング」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	効果的なコミュニケーションを実現するために必要な情報デザイン、コンピュータを活用するために必要な情報が処理される仕組み、データを活用するために必要な収集、整理、分析の方法、プログラム、モデル化とシミュレーション、ネットワーク、データベースなどについて理解し、技能を身に付けるとともに、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解と併せて身に付けている。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、コミュニケーションの手段、コンピュータ、ネットワーク、データ及びデータベースなどの活用を通して、情報社会などの問題の発見・解決に向けて、試行錯誤と振り返り及び改善を行い、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養っている。	情報と情報技術を適切に活用することで、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養おうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1章 情報社会 第2章 情報デザイン 第4章 ネットワークの活用 40 ネットワークとインターネット 41 インターネットの窓口 42 デジタル通信の仕組み 43 安全安心を守る仕組み	・定期考査 ・確認テスト ・実技テスト ・実習課題 等	・定期考査 ・確認テスト ・実技テスト ・実習課題 等	・実習課題 ・振り返りシート ・授業中の取り組み 等
	評価点	200点	200点	200点
後期	第4章 ネットワークの活用 44 情報システム 45 情報システムの信頼性 46 情報システムの活用 47 データの活用とデータベース 48 データの管理 49 データの収集と種類 50 データの分析 51 不確実な事象の解釈 52 2つのデータの関係 第3章 プログラミング	・定期考査 ・確認テスト ・実技テスト ・実習課題 等	・定期考査 ・確認テスト ・実技テスト ・実習課題 等	・実習課題 ・振り返りシート ・授業中の取り組み 等
	評価点	200点	200点	200点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	第1章 情報社会 01 情報とその特性 02 メディアとその特性 03 問題を解決する方法 04 情報の収集と分析 05 解決方法の考案 06 知的財産 07 個人情報 08 情報セキュリティ	12	
	5	09 情報モラルと個人の責任 10 情報技術の進歩と役割 11 情報技術が社会に与える光と影 確認テスト	18	
	6	第2章 情報デザイン 12 コミュニケーションとメディア 13 情報のデジタル化 14 数値の表現 15 2進法の計算 16 文字のデジタル表現 17 音のデジタル表現 18 画像のデジタル表現 タイピング実技試験		
	7	19 データの圧縮 20 デジタルデータの特徴 21 メディアと文化の発展 22 ネットコミュニケーションの特徴 23 情報デザイン 24 操作性の向上と情報技術		
	8	25 全ての人に伝わるデザイン 26 コンテンツ設計 確認テスト		
	9	第4章 ネットワークの活用 40 ネットワークとインターネット 41 インターネットの窓口 42 デジタル通信の仕組み 43 安全安心を守る仕組み 第2回考査・タイピング実技試験	4	
	後期	10	44 情報システム 45 情報システムの信頼性 46 情報システムの活用 確認テスト・タイピング実技試験	18
		11	47 データの活用とデータベース 48 データの管理 49 データの収集と種類 確認テスト・タイピング実技試験	
		12	50 データの分析 51 不確実な事象の解釈 52 2つのデータの関係 第3回考査・タイピング実技試験	18
1		第3章 プログラミング 27 コンピュータの構成 28 ソフトウェア 29 処理の仕組み 30 論理回路 31 アルゴリズム 32 アルゴリズムの表現 33 プログラミング基礎 34 プログラミング応用 1 35 プログラミング応用 2 36 モデル化 37 シミュレーション		
2		38 モデル化とシミュレーションの例 39 シミュレーションの活用 プログラミング実技試験		
3		確認テスト・タイピング実技試験		

#### 5 その他

<p>&lt;コンピュータ教室で授業を受ける際の注意事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 机の上には、授業で使う必要なものだけを置くこと。(飲食厳禁)</li> <li>② 毎時間の授業を大切に、担当教員から指示されたことに集中して取り組むこと。</li> <li>③ 情報Ⅰの classroom での投稿を確認すること。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用方法をしっかり身に付け、将来に役立ててください。特にネットワークの知識は重要です。</li> <li>・情報機器の操作の習得だけでなく、情報社会の進展や課題についても各自で関心を持つようにしてください。</li> </ul>
--

令和8年度 未来計画 年間指導計画

広島市立美鈴が丘高等学校 全日制課程

実施学年(1)年

<p>学校において定める 目 標</p>	<p>3年間の系統的な探究活動を通じて、変化の激しい社会の中に課題を見だし、その課題について「自分ごと」化して自ら学び、思考・判断し、問題をよりよく解決しようとする資質や能力を育てる。</p> <p>(1)教科横断的な探究の「型」を学ぶことを通じて、課題の発見と、解決に必要な知識および技能を身につける。</p> <p>(2)社会と自分とのつながりの中から課題を発見し、解決のプロセスを思考・判断したうえで、その分析を他者にわかりやすく伝えるための表現力を身につける。</p> <p>(3)他者との協働的な活動を通じて、主体的に学ぼうとする姿勢やよりよい社会を実現しようとする態度や人間性を身につける。</p>
<p>内 容</p>	<p>探究基礎力育成:「マイヒストリープロジェクト」「好き探究プロジェクト」を通して、探究に必要な型を身に付けるとともに、自らの内面に向き合い、自分の興味関心を発見し、それをキャリアにつなげる視点を養う。</p> <p>地域探究:「タンキウグローバルコラボレーション(略称 TGC)」というプログラムを後期を使って実施する。内容としては、コンソーシアム連携型地域探究プロジェクトを実施し、地域の企業や官公庁等と連携し、地域の魅力を発見したり、課題を解決したりすることを通じて、探究のプロセス(課題設定→情報収集→情報の整理・分析→まとめ・表現)を体験する。</p>
<p>育成を目指す 具 体 的 な 資 質 ・ 能 力</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられたテーマから適切な課題を設定し、ふさわしい調査方法で情報を収集する能力</li> <li>2. 事実を正確に把握するとともに、設定した課題を情報にもとづいて論理的に考察する能力</li> <li>3. 解決した課題を他者の視点に立ちながら要点をまとめ分かりやすく表現する能力</li> </ol>
<p>付 与 する 単 位 数</p>	<p>2 単位</p>
<p>授業時数の配当方法</p>	<p>火曜5時間目と木曜6時間目に設定する。</p>
<p>学 習 活 動</p>	<p>地域探究を中核に据え、情報収集と資料作成、発表を組み合わせ学習活動を行う。</p>
<p>教 材 の 使 用 等</p>	<p>業者の教材や校内で作成したワークシート、タブレット端末等を用いる。</p>
<p>指導方法・指導体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導原案は教育研究部が作成し、そのうえで担任・副担任を問わず学年教員で指導にあたる。</li> <li>・ 教育研究部のほか、教務部、進路指導部などの関係部署で連携して指導にあたる。</li> </ul>
<p>評価規準・評価方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人、グループで作成した成果物を保存し、評価する。</li> <li>・ 学習に対する振り返りを通じて、学習過程における能力や態度の伸長を評価する。</li> </ul>

単元	月	探究の過程	学習内容・学習活動	時数	学習活動 (場所)	各教科・特別活動等との関連・ 指導上の留意点等
探究 基礎 力育 成	4月	課題設定 情報収集 整理・分析 まとめ	【オリエンテーション】 講演等を通じて探究の意義 について理解する。	34	個人・グループ (各教室)	○自分の意見を持ちつつ、他者 とやりとりをする中でお互い の意見の良い部分を増幅し、 悪い部分を調整するように 協同的な合意形成を行う。 ○情報収集の場面ではテーマ に関連する教科と連携して 進める。 ○好き探究では好きなことが 各教科へどのようにつなが るかを意識させ、キャリア教 育へつなげていく。
	5月		【マイヒストリープロジェクト】 自分が力を入れてきたもの や人生の転機、好きなものを 調べることで自らの興味関 心を発見する。		個人・グループ (各教室)	
	6月		個人・グループ (各教室)			
	7月		【好き探究プロジェクト】 好きなものの魅力について、 根拠をもって他者に伝える とともに、好きなものの追究 が誰を幸せにするか考える。 【平和探究】 平和ノートを活用した平和学 習を行う。		個人・グループ (各教室)	
	8月		基礎力育成		【基礎力育成プロジェクト】 「大人の社会」に目を向け、マ ナーや社会課題に対して目 を向ける。	
	9月					
地域 探 究	10月	課題設定 情報収集 整理・分析 まとめ	【TGC:タンキユウグローバル コラボレーション】(コンソー シアム連携型地域探究) コンソーシアムから与えられた 課題をもとに複数のプロジ ェクトを設け、情報を収集し 適切に整理・分析し、まとめ て発表する。	36	個人・グループ (各教室)	○情報収集の場面ではテーマ に関連する教科と連携して 進める。
	11月				個人・グループ (各教室)	
	12月				個人・グループ (各教室)	○実際に地域の関係者に話を 聞きに行くなど、できる限り 地域資源を生かした取り組 みをする。
	1月				個人・グループ (各教室)	
	2・ 3月				個人・グループ (各教室)	○年度末に探究の成果を発表 する成果発表会を実施し、 様々な関係者から意見をもら う。